

2008年度第7回番組審議会議事録

1. 開催日時 2009年2月24日(火)17:30~18:30

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 7名 木辻清子・萩尾利雄・高木邦子・山本幸男・為岡務・平川愛恵
中嶋知之

3-3. 欠席委員 1名 正岡健二

補：放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第7回審議番組「ヨボセヨ」(編集後 25分42秒)

2月8日(日)19:00~21:00 2月9日(月)14:30~16:30 再放送

パーソナリティ：そら/電波ジャック丸尾 (C-チーム)

韓国・朝鮮語と日本語による楽しいおしゃべりの番組

1995年1月30日からずっと続いている最古参番組でもある。

現在は、K-コリアチーム(3人)とC-コリアチーム(5人)が隔週で放送を担当。

このC-チームは毎回生放送で、リスナーからのメール等も多く届いている。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【正岡健二委員】

- ・ 冒頭で番組の流れをコメントするのはよい。ただし、簡潔で明瞭な表現を要する。
- ・ 会話、話術ともに訓練が必要。パーソナル番組(原文まま)にありがちな早口で一方通行な放送になっている。自分たちだけがわかる会話であってはならない。
- ・ テレビは目で見て情報を理解できるが、ラジオではもう少しゆっくりとリスナーに話しかけるようにした方が耳に入りやすいように思う。
- ・ 伝えたい情報はあまりペーパーに頼らず自分のものにして伝えることが大切。十分に内容を理解して話さないとリスナーとのコミュニケーションが取れないのではないか。

6-2. 出席者の審議

【木辻清子委員長】

- ・ 韓国ドラマが好きなので興味津々で聞いた。
- ・ 細かいことは気にならずに楽しめた。私の職場のメンバーも面白かったと言っていた。
- ・ 今度はオンエアで2時間通して聞くつもりである。

【山本幸男委員】

- ・ いつも生放送で面白く聞いている。

- ・ 今回の素材は普段よりパーソナリティの人数が少なかったのでツッコミ役が居らずいつもより間がさびしく感じられた。
- ・ 進行がスムーズに行かない時でもメンバーの数が多いとその間フォローして繋いでくれるが、今回は二人だけだったので緊張があったか？

【為岡務委員】

- ・ 話のテンポが早いと正岡委員の指摘があったが、私は苦痛ではなかった。
- ・ 全体的に情報番組として違和感はなかったが、二人だけということではやはりいつもより話の展開がじっくりこなかったのではないかと思われる。

【萩尾利雄委員】

- ・ 気になったのは1点だけ。男性の声の語尾が聞き取りにくかった。

【高木邦子委員】

- ・ 言葉の言い間違いが気になった。二人とも早口だったのでもう少しゆっくり話してくれたらメモでもしようかという気にもなるのであるが…。

【中嶋知之委員】

- ・ やはり早口なのが気になった。
- ・ 話の流れがスムーズでなく、箇条書きを読むように話があちこちに飛んでいた。コーナー毎に起承転結がある話をしてほしい。

【平川愛恵委員】

- ・ 楽しんで聞いた。文化的な話題もよかった。
- ・ この素材は番組担当者が韓国に興味のある日本人だけの担当だったので、韓国の人がいればもっと話が盛り上がったのではないか。
- ・ 進行上のミスにもおおらかに対応していて印象がよかった。
- ・ リスナーとして常連になればもっと楽しんで聞くことができると思う。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 普段は、在日2世、3世の女性と韓国からの男子留学生の3人が一緒に、韓国本国の最新の話題や朝鮮日報の記事等を取り入れて賑やかに放送している。
- ・ 電波ジャック丸尾氏は1995年からずっとこの番組の担当者である。
- ・ 当初からリスナーからニーズのある番組であったが、近年定着した感のある韓流ブームの後押しもあり新たなリスナーも獲得していると思われる。
- ・ このCチームは毎回生放送をしているのでその様子を見学にお出でいただきたい。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 担当スタッフへの連絡

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送 2009年3月14日 16:50~17:00 放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載予定

以上